

目次

第1部 総論

第1章 多様な学びと政策 2

- 1.1 勉強や学問と政策 2
- 1.2 大学での多様な学びと政策 10

第2章 グローバル化の潮流 16

- 2.1 国際比較から見る現代日本 16
- 2.2 グローバル化の経済的側面, 政治的側面 24
- 2.3 世界へ行くこと 29

第3章 情報化の潮流 31

- 3.1 AIと雇用 31
- 3.2 情報化の影響 36
- 3.3 ネットワーク科学 39

第4章 政策と情報 45

- 4.1 政策とデータの関わり 45
- 4.2 政策とアクティブ・ラーニングの関わり 52

第5章 被害想定の情報と政策 68

- 5.1 被害想定とは何か 68
- 5.2 帰宅困難者問題のワークショップとデザイン 74
- 5.3 仮設住宅不足のデータ分析と事業提案 83

第2部 各論

第6章 政策科学の生成	94
6.1 政策志向の生成	94
6.2 政策科学とは何か	102
第7章 政策科学の基礎	108
7.1 公共政策をめぐる基礎的概念	108
7.2 公共政策の環境	115
7.3 政策科学のモデル	119
7.4 政策実施と政策評価	128
第8章 政策科学の展開	134
8.1 民主主義の政策科学	134
8.2 大衆社会論と情報社会論	140
8.3 政策情報論のイメージ	149
第9章 政策リサーチ案を作る	157
9.1 仮説探索・検証型の政策リサーチ	157
9.2 研究計画書を作る	163
第10章 政策リサーチの実例	196
10.1 東日本大震災による液状化被害への家計対応と行政支援	196
10.2 リサーチの橋渡し	217
謝 辞	221
参考文献	223
索 引	229